



米玉堂 との コラボ商品



チョコっとリンゴクッキー リニューアル!

商業科では、地域を宣伝する商品開発に取り組んでいます。
昨年、辰野町にある米玉堂食品株式会社様のご指導により、長野県産の米粉とリンゴを使用した「チョコっとリンゴクッキー」を発売していただき、多くの皆様にご利用いただきました。今年度は商品の見直しを行い、パッケージのリニューアルの実習を行いました。



企画会議

米玉堂食品株式会社様で



パッケージ印刷工程

三洋グラビア株式会社様 (伊那市) で

印刷工程にも立ち合いました。



商品パッケージングの工程

企画から商品が完成するところまでしっかり学習することができました。

どのようなパッケージにするとお客様の目に留まるのか、米玉堂の担当の方と話し合いを重ねます。

右側がリニューアルした商品です。リンゴの赤い色のイメージを強くしました。
きっと陳列棚でも目を引くことでしょう。



NEW!

是非お買い求めください!



米玉堂食品株式会社様で

この商品は、7月20日(土)に行われた桜蔭際の販売実習でお披露目販売しました。

マーケティング塾に参加 ながの東急で販売実習します!



↑松本大学での講座



新しいおやきの開発→

県内の商業を学ぶ生徒が集まり、マーケティングについて深く学びその学びの成果とし、8月19日～21日に「ながの東急百貨店」で販売実習を行います。辰野高校の3年生もこの塾生として、参加しています。

4月から松本大学の先生方や、普段なかなかお話を聞くことができないプロの方々から、商品開発や、売れるものづくりについてお話を聞き、実際に南信地区をアピールする商品開発やその販売に向け、学習に取り組んでいます。

未来経営人事業...今年もやります!

辰野町商工会後援による、未来経営人事業に今年も辰野高校商業科生徒の提案が採用されました。昨年に引き続き、空き店舗を利用し、地域の方々が気楽に立ち寄れる喫茶経営をおこないます。今年はどうなイベントを企画していくのでしょうか。・・・9月下旬オープンの予定で準備を進めています。



弓道 女子個人

準優勝 **赤羽唯花**さん (3年写真右)
八射皆中 競射で二位
三位 **木澤里奈**さん (3年写真左)
八射七中

朝夕の練習を3年間積み、力をつけてきた。部員同士アドバイスし合い、正しいフォームで常に皆中できるように練習してきた。地域の大会などに積極的に出場し精神力も養ってきた。女子は団体でも県大会に進んだが、決勝に進めず悔しい思いが残るが、個人では力を出しきれた。

(赤羽さんは県大会で四位となり北信越大会に出場した。)



剣道

準優勝 男子個人
橋爪愛樹君 (2年)

今大会を目標に放課後の練習と、地域のクラブでの練習に参加し力をつけてきた。中学では県大会にはたびたび出場したが、北信越大会への出場経験はない。高校では中学で果たせなかった北信越大会への出場を目標にがんばっている。

南信高校総体 ~上位入賞者の声~

陸上

男子やり投げ
三位
丸山徹君
(2年写真左)



短距離が専門だが、筋力と瞬発力を生かした「やり投げ」と「幅跳び」にも出場している。短距離の練習がやり投げにも生きた。

女子円盤投げ
優勝
一ノ瀬菜奈さん
(3年写真右)

中学から陸上競技に取り組んできたが、投てきは高校になって始めた。映像でフォームを確認するなど練習を工夫して力を伸ばしてきた。記録は自己ベストを更新でき、満足している。部長としても部員をまとめ、統率力も身についた。



柔道

女子個人戦 48kg級
優勝
小池早穂さん
(1年)

放課後学校での練習と地域のクラブでの練習に参加し力をつけてきた。小学校から柔道を始め中学校では北信越で三位となった。今大会は振るわず悔しい気持ちが残る。高校では全国大会出場を目指す。

青少年赤十字スタディーセンター研修に参加して

JRCタリフ二年 赤羽春南さん

三月二十三日から二十八日まで山梨県で行われた日本赤十字社スタディーセンターでの研修会に長野県代表として参加しました。この研修会は、全国の都道府県代表の高校生たちが赤十字活動のリーダーとしての役割を学ぶものです。山中湖での六日間の研修は、「気づき」「考え」「行動する」という赤十字活動でも重視される生活態度を目標に、ガイドブックと掲示物での連絡だけで行動するというものでした。指示のない生活をする中で常に緊張感を持ち、人の話を注意深く聞いたり掲示を細かく見たりする姿勢が求められました。研修は防災に関することが中心でした。山中湖周辺でのフィールドワークでは家庭の防災対策と自治体の防災訓練について聞き取り調査をしました。山中湖村では富士山が噴火したときに予想される溶岩流のハザードマップが全ての家庭にあり、災害時は近隣の家庭と連絡を取り合うことになっているそうです。また、防災訓練は、地震と富士山の噴火を想定して行われているそうです。調査をしてみて、災害時の備えは訓練に参加するだけでは不十分で、家庭でも非常食を備蓄したり、避難経路や災害時の行動について話し合ったりすることが必要だと感じました。



この研修で学んだことは、まず、注意深く生活することの大切さです。研修の期間、指示されなくても行動するためには、周りをよく見たり、人の話をきちんと聞いたりしなければなりません。そのような当たり前のことを日々の生活でも心がけていけば、一層よい生活が送れると思いました。次に、「DoからMind」という気持ちを持つことです。訳すと「ためにから 共に」です。人はみんな支え合って生きています。私自身も多くの人に支えられて今ここに存在しています。人のためにする行為や言葉がけは必要ではありませんが、「何かしてあげる」という気持ちでは十分とはいえません。家族に対する気持ちと同じような「共に生きていくんだ」という気持ちを誰にでも持つことが大切だということです。この研修で学んだことを胸に、これから前向きに過ごしてゆきたいと思っています。